

2016年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2016年6月17日（金）15時30分～17時30分

場所：仙台管区気象台第3会議室

開会の挨拶：境田支部長代理

出席者紹介：各人から自己紹介

議 題

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1. 日本気象学会東北支部第30期役員選挙の結果 | 2 ページ |
| 2. 新支部長及び新常任理事の互選 | 2 ページ |
| 3. 事業等の担当理事の選任 | 3 ページ |
| 4. 2015年度事業報告及び会計報告 | |
| (1) 2015年度事業報告 | 3 ページ |
| (2) 2015年度会計報告 | 6 ページ |
| 5. 2015年度会計監査報告 | 8 ページ |
| 6. 2016年度事業計画及び予算 | |
| (1) 2016年度事業計画 | 9 ページ |
| 1) 支部気象講演会 | 9 ページ |
| 2) 支部気象研究会 | 9 ページ |
| 3) 支部だより | 9 ページ |
| 4) 支部理事会 | 10 ページ |
| 5) 支部強化基金による活動 | 10 ページ |
| 6) 日本気象学会奨励賞などへの応募 | 10 ページ |
| (2) 2016年度予算案 | 11 ページ |
| 7. その他 | |
| (1) 2018年度秋季大会の準備について | 13 ページ |
| (2) 事務局から | 13 ページ |

資 料

- | | |
|-------------------|--------|
| 2016年度の各支部への配算計画 | 14 ページ |
| 役員名簿案（第30期2016年度） | 15 ページ |
| 東北支部規則 | 16 ページ |
| 東北支部細則 | 17 ページ |

議題1. 日本気象学会東北支部第30期役員選挙の結果

第30期東北支部役員選挙は、山崎幹事を選挙管理人とし3月18日告示、4月20日～5月20日投票、5月27日開票事務を実施。次のとおり役員が決定した(あいうえお順)。

在仙理事

青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
岩崎 俊樹 氏	東北大学大学院理学研究科教授
境田 清隆 氏	東北大学大学院環境科学研究科教授
桜井 美菜子 氏*	仙台管区气象台気象防災部予報課長
杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
田中 省吾 氏*	仙台管区气象台長
福山 博己 氏*	日本気象協会東北支局事業サービス課主任技師
藤田 司 氏*	仙台管区气象台気象防災部長

地方理事

岩尾 尊徳 氏	秋田地方气象台長
名越 利幸 氏	岩手大学理科教育科教授

会計監査

小池 二郎 氏*	仙台管区气象台気象防災部気象防災情報調整官
----------	-----------------------

* 印は新任

議題2. 新支部長及び新常任理事の互選

「支部規則」第10条に基づき、新支部長、新常任理事を選出する。
事務局(案)は次のとおり。

*事務局(案)

支部長	田中 省吾 氏	仙台管区气象台長
常任理事	青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	岩崎 俊樹 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	境田 清隆 氏	東北大学大学院環境科学研究科教授
	杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
	福山 博己 氏	日本気象協会東北支局事業サービス課主任技師
	藤田 司 氏	仙台管区气象台気象防災部長
	桜井 美菜子氏	仙台管区气象台気象防災部予報課長

・新支部長挨拶

議題3. 事業等の担当理事の選任

事務局(案)は次のとおり

①支部気象講演会 (2016年度岩手開催) (2017年度秋田開催)	境田常任理事 名越地方理事 岩尾地方理事
②支部気象研究会	○桜井常任理事
③東北支部だより	青木常任理事
④支部独自活動	杉山常任理事
⑤支部事務局	○桜井常任理事
⑥会計監査	○小池会計監査

○印は新任

・東北支部第30期役員の内任は2017年度まで

- ・理事および会計監査に欠員を生じた場合は支部規則に沿う
- ・支部長の代行は支部規則に沿う

・全国理事

岩崎理事が第39期理事候補者選挙において当選され、代表理事(理事長に選任された)

※ 日本気象学会東北支部第30期役員名簿案は、15ページのとおり。

議題4. 2015年度事業報告及び会計報告

(1) 2015年度事

1) 東北支部気象講演会

日時：平成28年2月20日(土)13時30分～15時30分(開場13時30分)

場所：東京エレクトロンホール宮城 601大会議室

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3丁目3-7

テーマ：「平成27年9月関東・東北豪雨」

演題および講師：

- (1)「東北地方で観測された豪雨のようす」
廣川 康隆氏(仙台管区気象台気象防災部予報課 技術専門官)
- (2)「仙台管区気象台のとした対応」
渡辺 真二氏(仙台管区気象台気象防災部予報課 課長)
- (3)「宮城でどうしてたくさん雨が降ったのか？」
岩崎 俊樹氏(東北大学大学院理学研究科 教授)
- (4)「宮城県の河川被害およびその実態」
小森 大輔氏(東北大学大学院環境科学研究科 准教授)

司会：大江 和美氏(日本気象協会東北支局 気象予報士)

参加人数：約70名

主催：日本気象学会東北支部

共催：仙台管区气象台
後援：宮城県、仙台市
東北支部だより第83号に開催報告を掲載予定

2) 支部強化基金による活動

第6回気象サイエンスカフェ東北

日時：平成27年11月14日（土）13時30分～16時00分（開場13時00分）

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

〒983-0842 宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3番15号

テーマ：「もし地球が立方体だったら」

話題提供：名越 利幸氏（岩手大学 教授）

司会：大江 和美氏（日本気象協会東北支局 気象予報士）

参加人数：約40名

主催：日本気象学会東北支部・日本気象予報士会東北支部

共催：日本科学協会・日本気象協会東北支局・仙台管区气象台

3) 東北支部気象研究会

仙台管区气象台東北地方調査研究会との共催

日時：平成27年12月7日（月）10時30分～17時15分

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

発表：21題（発表応募6題、仙台管区气象台東北地方調査研究会15題）

参加人数：約80名

気象研究会の発表演題、著者（発表者に○）

なお紙面の都合上、仙台管区气象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・ 陸面過程モデルによる葉面湿潤度の推定と検証 —いもち病の予測を目指して—
○成田裕幸¹、山崎剛¹、菅野洋光²、大久保さゆり³（1：東北大学大学院理学研究科、2：農研機構中央農業総合研究センター、3：農研機構東北農業研究センター）
- ・ [平成27年9月関東・東北豪雨] 栃木・茨城県に大雨をもたらした総観スケールの環境場の特徴について
○津口裕茂・加藤輝之（気象研究所）
- ・ 2013年5月13日の仙台山形の気温差について
○岩場遊、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・ 従来型観測のみを用いた日本域長期領域再解析システムの構築に向けて
○福井真^{1,2}、岩崎俊樹¹、瀬古弘²、斉藤和雄²、国井勝²（1：東北大学大学院理学研究科、2：気象研究所）
- ・ 特定温位面以下の寒気の蓄積と放出
○菅野湧貴、Muhammad Rais Abdillah、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・ カナダ・チャーチルにおける大気中CH₄濃度とその炭素・水素同位体比の変動
○藤田遼¹、森本真司¹、梅澤拓²、石島健太郎³、Prabir Patra^{1,3}、Doug Worthy⁴、青木周司¹、中澤高清¹（1：東北大学大学院理学研究科附属 大気海洋変動観測

4) 東北支部だより

■第81号 (2015年8月発行)

- ・ 支部長就任挨拶：長谷川 直之氏 (日本気象学会東北支部長)
- ・ 寄稿「大気球を用いたインドネシア上空の熱帯大気観測」
：菅原 敏氏 (宮城教育大学教授)
- ・ 第5回気象サイエンスカフェ東北
：岩渕 巧氏 (日本気象予報士会東北支部)
- ・ 平成26年度気象講演会報告
：高橋 清利氏 (福島地方気象台長 (現・長野地方気象台長))
- ・ 2014年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2015年度日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 東北支部「気象研究会」の開催案内
- ・ 第6回気象サイエンスカフェ東北のご案内

■第82号 (2016年2月発行)

- ・ 寄稿「平成27年9月関東・東北豪雨と東海豪雨を経験して ～予報技術の向上に期待する～」
：渡辺 真二氏 (仙台管区気象台)
- ・ 第6回気象サイエンスカフェ東北
：岩渕 巧氏 (日本気象予報士会東北支部)
- ・ 2015年度日本気象学会東北支部気象研究会報告
：斎藤 篤思氏 (日本気象学会東北支部事務局)
- ・ 2015年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部第30期役員選挙の予告
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内

5) 支部理事会

- ・ 第1回 (2015年4月24日, 仙台管区気象台第3会議室)
- ・ 臨時回 (2015年9月08日, 仙台管区気象台第3会議室)
- ・ 第2回 (2016年2月29日, 仙台管区気象台第3会議室)

6) 平成27年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) の公募

- ・ 申請はなし

7) 日本気象学会奨励賞の推薦

- ・ 推薦はなし

(2) 2015年度会計報告

〔支部一般会計〕(2015年4月1日～2016年3月31日)

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	558,800 円	*1558,800 円	0 円
前期繰越金	314,815 円	314,815 円	0 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	54 円	4 円
事業活動収入計(1)	873,665 円	873,669 円	4 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000 円	241,489 円	8,511 円
支部気象研究会	100,000 円	0 円	100,000 円
支部だより	230,000 円	190,875 円	39,125 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	85,000 円	53,222 円	31,778 円
支部役員選挙	20,000 円	7,920 円	12,080 円
事務費	150,000 円	155,059 円	△5,059 円
事業活動支出計(2)	850,000 円	663,565 円	186,435 円
III 予備費支出			
予備費支出	23,665 円	0 円	23,665 円
予備費支出計(3)	23,665 円	0 円	23,665 円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)		210,104 円	
次期繰越額(A)	0 円	210,104 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1：本部交付金は、支部会員174名×1,200円+35万円。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	82,000 円	82,000 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	10,000 円	10,000 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	92,000 円	92,000 円	0 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	22,000 円	19,980 円	2,020 円
会場費 開催費	15,000 円	13,698 円	1,302 円
講師謝金	10,000 円	3,240 円	6,760 円
事務費	10,000 円	5,276 円	4,724 円
役務費・交通費	35,000 円	33,700 円	1,300 円
事業活動支出計(2)	92,000 円	75,894 円	16,106 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	*16,106 円	△16,106 円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1：残金 16,106 円は、2016 年 2 月 25 日に事務局本部へ返納した。

議題5. 2015年度会計監査報告

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2016年3月25日

日本気象学会東北支部会計監査

白川 崇一 

議題6. 2016年度事業計画及び予算

(1) 2016年度事業計画

1) 東北支部気象講演会

2007年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者	
2007年度	青森市	板谷 宏之	児玉 安正
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保 忠之
2009年度	大崎市	境田 清隆	大場 淳司
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司
2012年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正
2014年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔
		渡辺 真二	廣川 康隆

気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する方針とする。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

【概要】

日 時：平成28年11月19日（土）14時～16時半（予定）

会 場：岩手大学教育学部北桐ホール（予定）

テーマ：未定

詳細は別添1参照

2) 東北支部気象研究会

- ・仙台管区気象台の東北地方調査研究会に合わせて共催で開催予定。
2016年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討する。
気象業務、研究を本務としない会員の発表者には、気象学会東北支部から交通費の一部補助を引き続き行うが、広くの発表者を募るため、2015年度と同様に新年度の早い段階で、補助の周知を行いたい。
詳細は別添2参照

3) 東北支部だより

- ・年2回発行(第83号、84号)の予定。
- ・発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2015年度と同様に業者発注とし、作業は簡略化する。

4) 支部理事会

- ・例年は年2回(5～6月、3月頃予定)開催している。

5) 支部強化基金による活動

- ・気象サイエンスカフェ東北を、2016年秋頃に仙台市で開催する(予定)。開催日程や会場、テーマ等について、日本気象予報士会東北支部と打ち合わせを行いつつ、準備を進めていく。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

(2) 2016年度予算案

〔支部一般会計〕

	2016年度 予算額	2015年度 予算額	予算増減額 [2016年—2015年]	2015年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	*1551,600円	558,800円	△7,200円	558,800円
前期繰越金	210,104円	314,815円	△104,711円	314,815円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	
雑収入				
預金利息	50円	50円	0円	54円
事業活動収入計(1)	761,754円	873,665円	△111,911円	873,669円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円	241,489円
支部気象研究会	100,000円	100,000円	0円	0円
支部だより	200,000円	230,000円	△30,000円	190,875円
ホームページ 運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
管理費支出				
支部理事会	85,000円	85,000円	0円	53,222円
支部役員選挙	30,000円	20,000円	10,000円	7,920円
事務費	50,000円	150,000円	△100,000円	155,059円
事業活動支出計(2)	730,000円	850,000円	△120,000円	663,565円
III 予備費支出				
予備費支出	31,754円	23,665円	8,089円	0円
予備費支出計(3)	31,754円	23,665円	8,089円	0円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	210,104円
次期繰越収支差額 (A)+(B)	0円	0円	0円	210,104円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1 本部交付金は、支部会員168名×1,200円+35万円。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	2016年度 予算額	2015年度 予算額	予算額増減 [2016年-2015年]	2015年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	85,000円	82,000円	3,000円	82,000円
気象予報士会東北支部分担金	*110,000円	10,000円	0円	10,000円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	95,000円	92,000円	3000円	92,000円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	20,000円	22,000円	△2,000円	19,980円
会場費 開催費	20,000円	15,000円	5,000円	13,698円
講師謝金	15,000円	10,000円	5,000円	3,240円
事務費	5,000円	10,000円	△5,000円	5,276円
役務費・交通費	35,000円	35,000円	0円	33,700円
事業活動支出計(2)	95,000円	92,000円	3,000円	75,894円
当期収支差額=(1)-(2)	0円	0円	0円	16,106円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*12016年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

議題7. その他

(1) 2018年度秋季大会の準備について

2018年10月29日（月）～11月1日（木）の期間において、仙台国際センターの会議棟および展示棟をすべて仮予約している（別紙参照）。仮予約の期限が2017年2月末のため、2016年内には「3.5日4会場」と「3日5会場」のどちらかに決定する必要がある。なお前日（28日）は他学会が終日会場をおさえているため、29日午前は会場を利用することはできない。

2018年度秋季大会の準備へ向けて、大会準備担当の理事・幹事を設置する。また気象台職員は数年で異動があることを考慮して、担当理事・幹事は大学側にお願いする。

(2) 事務局から

① 東北支部会員数（個人会員）

2016年4月18日現在

県名	会員数	2015.04
青森県	21名	24名
岩手県	16名	17名
秋田県	13名	15名
山形県	14名	15名
宮城県	84名	82名
福島県	20名	21名
合計	168名	174名

6名減

② 旅費等について

交通費については

青森は 21,000円 [10,500円×2]

弘前は 22,300円 [11,110円×2]

秋田は 20,100円 [10,030円×2]

盛岡は 12,200円 [6,090円×2]

山形は 2,100円 [900円×2+140円×2]

福島は 2,600円 [1,280円×2]

仙台、岩沼は1,000円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

2016年度の各支部への配算計画（支部交付金、支部活動強化基金補助額等）

2016年度_各支部への配算計画（支部交付金・夏季大学補助金・支部活動強化基金補助金）

2016.04.14

支部	北海道	東北	中部		関西		九州			沖縄	合計
			地区研究会 支援	S.カフエ	年会・例会 旅費補助	S.カフエ	気象関係 合同運船説明 会	ジュニア セッション	S.カフエ in九州		
個人会員数 (4月1日)	178	168	277	480			192	60	1,355		
支部交付金	563,600	551,600	682,400	926,000			580,400	422,000	3,726,000		
夏季大学補助金	0	0	100,000	100,000			0	100,000	300,000		
支部活動 強化基金 補助金	S.カフエ	S.カフエ	地区研究会 支援	年会・例会 旅費補助	気象関係 合同運船説明 会	ジュニア セッション	S.カフエ in九州	S.カフエ in鹿児島	支部奨励賞		
	100,000	85,000	50,000	120,000	50,000	220,000	94,000	94,000	60,000	0	982,000
小計	100,000	85,000	119,000	210,000			468,000	0			
交付額合計	663,600	636,600	901,400	1,236,000			1,048,400	522,000	5,008,000		
前期繰越金	332,662	210,104	29,924	1,057,475			636,896	947,258	3,214,319		
期首予算高	996,262	846,704	931,324	2,293,475			1,685,296	1,469,258	8,222,319		

日本気象学会東北支部第30期2016年度役員名簿

2016年6月17日現在

支部長	田中 省吾	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	福山 博己	日本気象協会東北支局事業サービス課主任技師
	藤田 司	仙台管区気象台気象防災部長
	桜井 美菜子	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	名越 利幸	岩手大学教授（理科教育科）
	岩尾 尊徳	秋田地方気象台長
会計監査	小池 二郎	仙台管区気象台気象防災部気象防災情報調整官
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	岩渕 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	斎藤 篤思	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	佐藤 賢一	仙台管区気象台気象防災部地震火山課 技術主任

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3～4 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正

役員の選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干 3 名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもを行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上